

社会貢献者表彰を受賞

新宮山彦ぐるーぷが報告会

修験道「南奥駈道」の再生を手掛けた自然保護団体「新宮山彦ぐるーぷ」がこのほど、「第47回社会貢献者表彰」を受賞。その報告会が10日、阿須賀会館であった。52人の会員が出席、これまでの活動を振り返り、喜びを分かち合った。

新宮山彦ぐるーぷは、新宮市で昭和49年に結成。明治期の神仏分離令と修験道廃止令により使われなくなり、荒廃していた南奥駈道を刈り開き、再生させた。道中の山小屋の新築や改築、修繕も実施。30年以上にわたり、道の補修や清掃、周辺の植生保護などに取り組んでいる。

南奥駈道再生など評価

同表彰は、社会貢献者を公益財団法人社会貢献支援財団が表彰するもの。安倍昭恵・内閣総理大臣夫人が会長を務める。表彰の内容は、緊急時の人命救助、社会福祉の増進、青少年育成への功勞、国際協力、海の環境保全と安全保持、子ども読書推進など多岐にわたる。表彰式は東京都で11月28日に行われた。報告会では、川島功代表があいさつ。「これまで約1万8000人が奉仕してくれた。表彰は奉仕してくれた一人一人のおかげ。出席の皆さんのほか、遠方からの支援者、物故者の皆さんのおかげ」と感謝を述べたほか、協力企業からの物品や活動資金の援助を紹介。「受賞を励みに、設立当初の趣旨と奉仕の精神を忘れず、今後も活動の継続・継承に頑張る所存。引き続きご支援、ご協力をお願いします」と呼び掛けた。

第47回 社会貢献者表彰式典

公益財団法人 社会貢献支援財団
帝国ホテル二階 孔雀の間
平成28年11月28日(月)



表彰式典で安倍会長(右から2人目)と記念撮影する川島代表(右端)ら



全員で乾杯して喜びを分かち合った